

僕は将来、リーダーとして自分や自分の大切な人がいつまでも幸せに暮らせる世の中を創りたいと思います。今の日本は環境問題、人権問題、ダイバーシティ問題、食糧問題に加え、新型コロナウイルスのまん延による社会や経済の混乱、少子高齢化が進むことによる収入や年金の減少の問題など、多くの課題を抱えています。このような大きな課題について、今の大人や政治家に任せるのではなく、今のうちから自分ごととらえて、解決策を考え、僕たちのさらに先の世代の人たちの不安を取り除きたいと思います。

中でも、僕は医療の分野に興味を持っています。一昨年、僕の所属するサッカークラブに兄弟で入団していた友人が急にクラブを退団し、一年生から一緒に打ち込んできた大好きなはずのサッカーをやめてしまいました。その半年後、その友人のお兄さんが脳腫瘍で亡くなりました。僕は同じクラブでサッカーをしていたその一学年上のお兄さんの死にと

てもシヨツクを受けました。お兄さんの葬式
に行くと、友人のお母さんはずつと泣いてい
た一方で、夕々に会った友人は気取ずかしう
うに僕たちチームメイトとの再会を喜んでく
れました。僕が誘ったラグラブの練習にも一
度顔を出してくれましたが、それフキリで今
でもサツカーを再開していません。お兄さん
と一緒に頑張ってきたサツカーには思い出が
多すぎるのかもかもしれません。僕は脳腫瘍が病
気になった本人のみならず、その家族の生活
も大きく変えてしまふことを目の当たりにし
ました。

その後、僕は海外では認可されていて使え
る薬やワクチンが日本では認可されておらず
使えない「ドラッグ・ラグ」という問題があ
ることを知りました。友人のお兄さんはドラ
ッグ・ラグが無ければ助かったのがどうかは
分かりません。しかし、日本にはドラッグ・
ラグのせいで苦しんでいる患者やその家族が
いることは確かだと思えます。

僕は将来、日本の医療が抱える問題の解決を目指します。具体的には、医師免許を取り医療の専門知識を活かして保健医療や公衆衛生に関わる制度を作る行政官になりたいです。そして、仕組みの再構築を通じて、一分一秒でも早いドラッグ・ラッグの解消に貢献したいと思います。

ドラッグ・ラッグ解消のためには、多くの文献を読んで医学について勉強し、現状を把握するとともに、今の仕組みの問題点を適切に分析する必要があります。また、ドラッグ・ラッグ解消までのハードルを乗り越えるには、関係者にその優先順位の高さを納得してもらう必要があります。さらに、ドラッグ・ラッグ解消までの間に役立つ他の手段はないかなど刻一刻と変化する状況に適切に対応していく必要があります。

大きな課題に立ち向かうためには、自分一人だけで解決することは難しいので、仲間と同じ問題意識を持って立ち向かう必要があります。

ます。例えば、医者、官僚、政治家、企業などそれぞれ別の立場を超えた協力や、日本国内だけでなく、海外とも協力して立ち向かう必要もあると思います。

このように、未来のリーダーとして、世の中の課題を解決するためには、三つの力が必要だと考えます。

一つ目は、世の中にあふれるたくさん情報から、問題解決に必要な情報を選別して、正しく判断する力です。そのためには、僕は算数や理科についてこれからも勉強し、わからない問題に出会っても、すぐに答えを聞いたり調べたりせず、自分の頭で考え、答えを探そうにしたいと思います。

二つ目は、刻一刻と変化する状況を察知し、これから顕在化する問題を見つけ出す力です。そのためには、自分の生活には関係が無いように思えるロシアとウクライナの問題や、円安問題などの重要なニュースについても、何が根本的な問題か、次に出てくるであろう課題

題は何かなど、注意しながら自分の頭で考えるようにしたいと思えます。

三つ目は、グループ内外のメンバーに対して同じ目標を共有し、ゴールに向かっで導くためのコミュニケーション力です。そのためには、周囲のメンバーを信頼して、また、信頼してもらえるように、誠実に、情熱を持つて人間関係を作りたいと思います。また、良い意見をグループで内外に伝えられるように、発信して伝える力を身に着けたいと思えます。

今の僕は、世の中の課題を解決する力はまだありません。ですが、これから着実に「判断力」の問題を見つけていくコミュニケーション力「コミュニケーション」を高めたいと思います。僕は将来たくさんの協力者をリードし、友人のように大好きなサッカーから離れてしまう人を減らし、日本中の皆が幸せに暮らせる世の中を作りたいと思います。